

- LogicでHALion Sonicをマルチパートで使用する -

このマニュアルではSteinberg HALion SonicをApple Logicにてマルチティンバー音源として使用する方法をご案内します。

HALion SonicをMIDIマルチチャンネルで使う

Step.1

新規トラック作成より、ソフトウェア音源を選択し、マルチティンバーにチェックを入れます。
この時トラック数は16にしておくとい良いでしょう。



Step.2

作成されたソフト音源トラックにHALion Sonicをインサートします。
一つのソフトウェア音源トラックにHALion Sonicを割り当てれば、他のソフトウェア音源トラックにも自動的に割り当てられます。
LogicからHALion Sonicを選択するときはステレオ出力タイプとマルチ出力（16xステレオ）タイプが用意されています。



Step.3

右図のように各ソフト音源トラックにHALion Sonicが割り当てられます。
各トラックは番号の若いトラック順に1～16チャンネルに割り振られています。



- LogicでHALion Sonicをマルチパートで使用する -

HALion Sonicのサウンドをマルチ出力する

※この説明はHALion Sonicをマルチ出力（16xステレオ）で選択した時のみ有効です。

Step.1

HALion Sonicが割り当てられたトラックを選択した状態でウィンドウよりミキサーを選択しミキサーウィンドウを開きます。

HALion Sonicが割り当てられたトラックの[M][S]ボタン近くにある[+]を押すことでAUXトラックを追加していくことができます。

HALion Sonicは16チャンネルステレオアウトプットが可能です。元々作成されていたソフト音源トラックに加えAUXを15トラックまで増やすことができます。



Step.2

作成されたAUXトラックのインプットはトラック番号の若い順にHALion Sonicから出力が3-4/5-6/7--8という順に割り当てられています。

特に変更する必要はありませんが、用途に合わせて変更も可能です。

- [HALion Sonic] Out 2 = [Logic]HALion Sonic 3-4
- [HALion Sonic] Out 3 = [Logic]HALion Sonic 5-6
- [HALion Sonic] Out 16 = [Logic]HALion Sonic 31-32



Step.3

HALion Sonicでは、[Mix]ページを開き、画面右端のOutputを選択します。

各トラックの出力先をここで設定します。

